



議会だより

北栄



新年度予算 **可決** P.2

注目事業はこれだ! P.4

町政 **ここを問う** P.8

アポなし **インタビュー** P.24



北栄町議会

検索

<http://www.e-hokuei.net>

平成26年度 一般会計 当初 「簡素・効率」 予算を 可決

質疑あれこれ

問 津川 俊仁
声の広報は、とてもよい事例なので、もっと予算をつけて広く宣伝してほしいのか。

答 鎌田福祉課長
これは毎月の広報紙を声で録音して、町のホームページから聞けるようにしているもの。今後積極的にすすめていく。

問 西村教育総務課長
国からの通知により、「猷立」の作成は民間委託できないので、一括での委託は考えていない。

答 鎌田福祉課長
63自治会中、29自治会しかない状況。役員の負担感がありなかなか増えない。負担の少ない高齢者サークルを紹介して、孤立防止に務めている。

問 飯田 正征
無償譲渡に伴う北条文化会館の工アコン代金は、そこまで必要か。

答 杉本生涯学習課長
撤去費やダクト修繕なども含んだ金額だが、必要最小限のもので実施する。

問 前田 栄治
学校給食センター費は、今後、調理部門以外も含んだ委託をする考えはないか。

答 鎌田福祉課長
中央公民館は高齢者の方の利用が多い。1階にテーブル席の会議室を考へてはどうか。

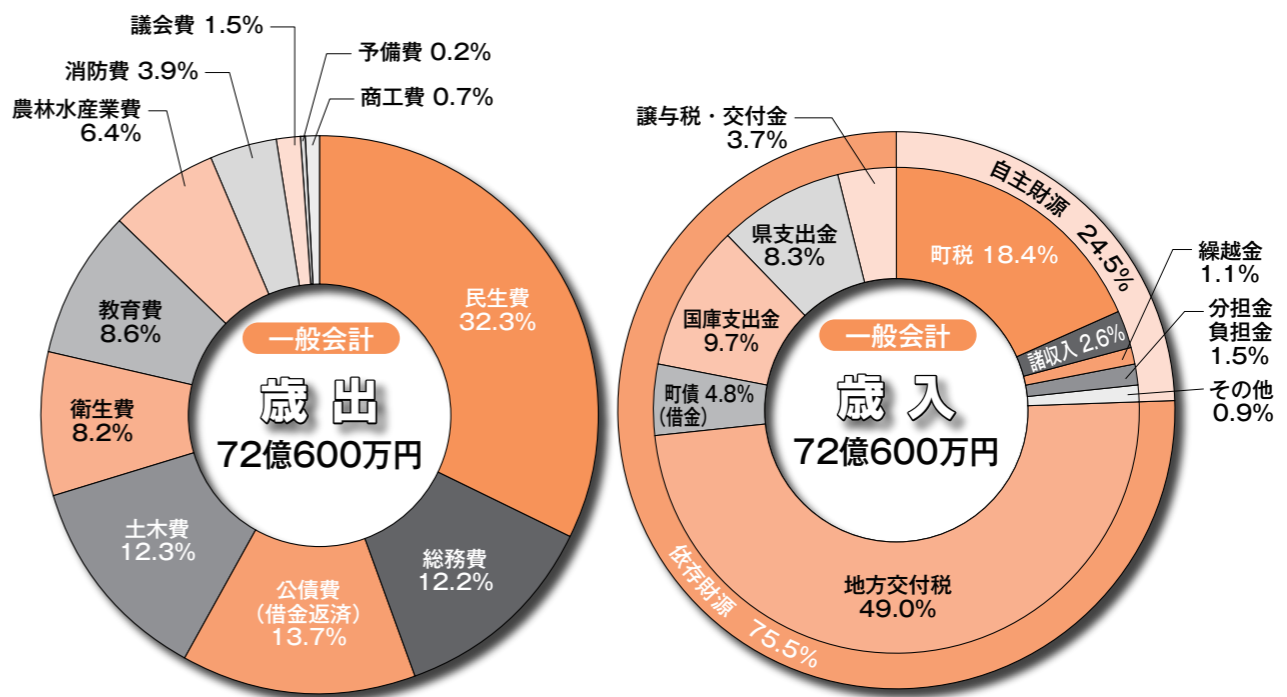
問 池田 捷昭
老人クラブ補助金は、高齢者が増えているのにクラブ数が少ないのではないか。

答 杉本生涯学習課長
前向きに検討したい。



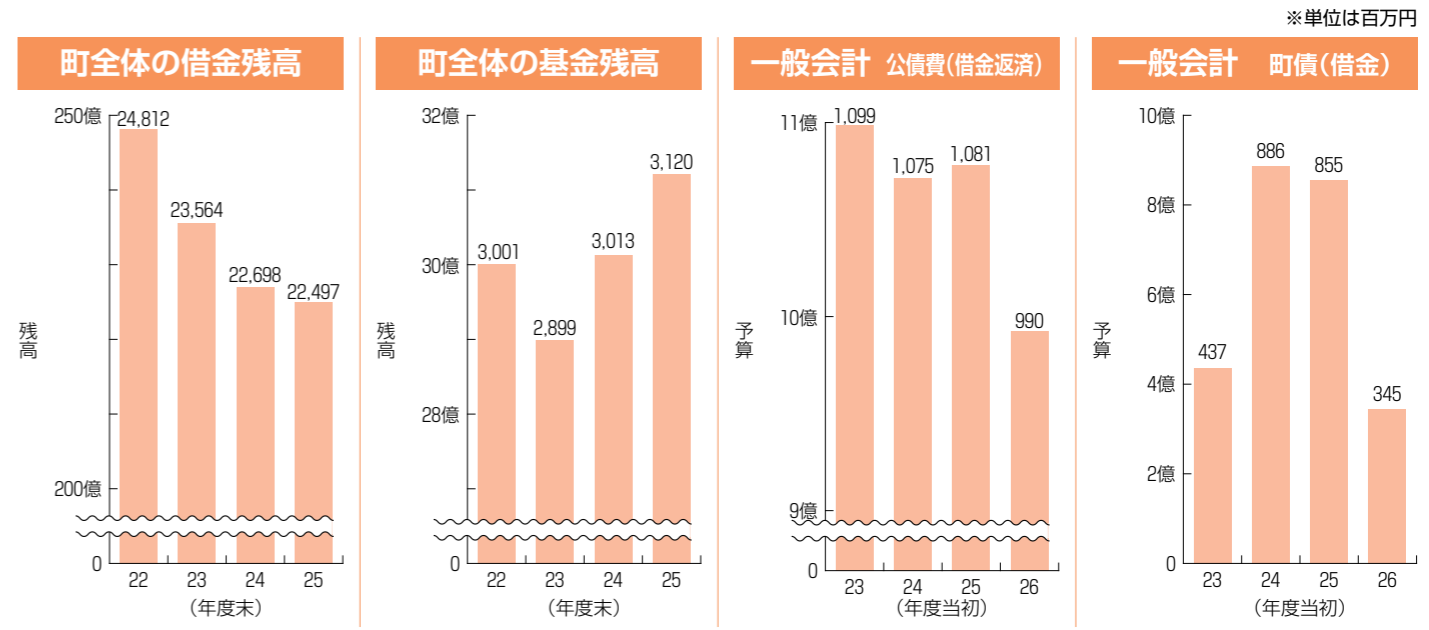
声の広報の編集風景

平成26年3月定例議会が、3月6日から20日まで開かれました。平成26年度当初予算（一般会計ほか11会計）、平成25年度補正予算（5会計）、条例など12件、人事案件1件、議員発議2件の合計32議案と1件の陳情審査が行われました。その結果、32議案は、すべて原案のとおり可決されました。



前年度比
3億3百万円
減額

一般会計当初予算は、光ファイバー伝送路事業が終了し、前年度比3億3百万円、4%減の72億600万円の「簡素・効率」予算となりました。歳入では、町の借金である「町債」が、前年度比△5億880万円、△60%と大幅ダウンし、借金依存財政からの脱却の方針が貫かれています。歳出では、過去の町債の償還に充てられる「公債費」が、前年度比△9,000万円、△8%と、借金返済が順調にすすめられています。



予算案に賛否あり

【反対討論】

長谷川昭二
人権侵害などを誘発する国民番号制導入システムの委託料、不必要な大型公共事業の推進である山陰縦貫・超高速鉄道整備推進負担金、調理従事者を低い雇用待遇に追いやる学校給食調理部門の民営化予算、必要性に欠ける人権相談員の常設などの予算計上があることにより反対する。

【賛成討論】

浜本武代
まちづくりビジョンの基本目標に沿って、次世代が夢と希望がもてる農業を目指し、特産品や遊休農地の解消、町民の健康維持に各種検診や歯の検診への受診率の向上、消費税対策の「住宅リフォーム」、遠距離通学の児童へスクールバスの購入、ふるさと納税のお礼の品を増やすなど町民の幸せに向けての予算となっている。

- 【反対議員】 長谷川
- 【賛成議員】 浜本・田中・池田
山下・前田・森本
宮本・町田・斉尾
阪本・油本・飯田
津川



より
住みよいまちに
新たな

注目事業はこれだ!!

平成26年度一般会計予算に盛り込まれた事業を取り上げました。



農地適切利用啓発 11万円

農業委員会がモデル的に遊休農地を解消し耕作することにより、遊休農地の解消と適切利用の啓発を行います。



住宅リフォーム支援補助金 700万円

住宅の改修や修繕を町内事業者により実施した場合は、工事費10万円以上の場合のみ、経費の1割で上限10万円までが補助支給になります。



お試し住宅・地域おこし協力隊 1,734万円

都市にお住まいの方を「地域おこし協力隊」として委嘱し、町に住んでもらったうえで、地域おこし活動を行っています。



町営住宅用途廃止(譲渡・廃止) 57万円

中央団地、六尾北団地は譲渡処分、向山団地は廃止、由良宿団地は建替の方針を決定。
向山団地入居者、中央団地入居者で民間住宅への入居を希望される方に移転費補助、家賃補助を行います。



北条小学校にスクールバス導入 1,063万円

遠距離に該当する東新田場・西新田場・曲自治会の全学年児童および江北浜・米里自治会の1・2年生の通学について、スクールバス(29人乗り中型バス)を導入・運行します。



道路維持管理・新設改良 1億1,962万円

町道について、自治会やPTA要望及び損傷報告や道路巡視により、計画的に補修・修繕を行います。



ふるさと北栄町基金 220万円

「ふるさと納税」を増やすため、品数も増えた新しいお礼カタログの印刷やクレジットでも納付出来るようにします。

賛否あり

平成26年度特別会計予算

- ① 国民健康保険特別会計
- ② 介護保険特別会計
- ③ 後期高齢者医療特別会計
- ④ 下水道特別会計
- ⑤ 農業集落排水特別会計
- ⑥ 合併処理浄化槽特別会計

反対討論 長谷川 昭二

- ① 被保険者の負担能力を超えた保険料であり、さらに負担軽減を図る必要がある。
- ② 厳しい生活の中、被保険者の負担を軽減する施策が不十分である
- ③ 高齢者を差別し、際限のない負担増をおしつける、この医療制度の廃止を求める。
- ④ 引き上げた使用料が組み込まれている予算である。
- ⑤ ④と同じ
- ⑥ ④と同じ

反対議員

長谷川

賛成議員

浜本・田中・池田
山下・前田・森本
宮本・町田・斉尾
阪本・油本・飯田
津川



質疑あれこれ

3月
定例議会

議案審議結果

答 飯田地域整備課長
年度内の修繕代（モーターなど）として支払うもの。

問 田中 精一
風力発電事業の修繕費は、年度内の執行分か。

答 手嶋産業振興課長
商工会としては5月中・下旬の発行予定となっているが、一日も早い対応を促していく。

問 津川 俊仁
消費税の増税対策としてのプレミアム商品券の発行は、早急な施策が大切ではないか。

補正予算

平成26年度 当初予算	▶ 一般会計	(72億6百万円)	賛成13：反対1	
	▶ 国民健康保険特別会計	(19億2,749万円)	賛成13：反対1	
	▶ 介護保険特別会計	(16億2,439万円)	賛成13：反対1	
	▶ 住宅新築資金等貸付特別会計	(883万円)	全会一致	
	▶ 下水道特別会計	(12億6,012万円)	賛成13：反対1	
	▶ 農業集落排水特別会計	(1,754万円)	賛成13：反対1	
	▶ 風力発電特別会計	(5億3,746万円)	全会一致	
	▶ 米財産区特別会計	(54万円)	全会一致	
	▶ 合併処理浄化槽特別会計	(686万円)	賛成13：反対1	
	▶ 大栄歴史民俗学習館特別会計	(5,101万円)	全会一致	
	▶ 後期高齢者医療特別会計	(1億5,026万円)	賛成13：反対1	
	▶ 水道会計	※支出ベース(4億8,515万円)	全会一致	
	条例	▶ ケーブルテレビ施設基金条例を廃止する条例	(基金廃止)	全会一致
▶ 空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例		(空き家対策)	賛成13：反対1	
▶ 町長等の給料の特例に関する条例の一部改正		(報酬減額)	全会一致	
▶ 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正		(手当支給)	全会一致	
▶ 税条例の一部改正		(地方税法改正によるもの)	全会一致	
▶ 国民健康保険税条例の一部改正		(地方税法改正によるもの)	全会一致	
▶ 法定外公共物管理条例の一部改正		(消費税法改正によるもの)	全会一致	
▶ 道路占用料徴収条例の一部改正		(消費税法改正によるもの)	全会一致	
▶ 公共下水道条例等の一部改正		(国の標準条例見直しに伴うもの)	全会一致	
▶ 水道事業給水条例の一部改正		(消費税法改正によるもの)	賛成13：反対1	
▶ 非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正		(法律準拠)	全会一致	
平成25年度 補正予算		▶ 一般会計(第5号)	(プレミアム商品券補助300万等)	全会一致
		▶ 介護保険特別会計(第2号)	(システム改修60万円)	全会一致
	▶ 下水道特別会計(第5号)	(事業確定等▲635万円)	全会一致	
	▶ 風力発電特別会計(第2号)	(修繕費等964万円)	全会一致	
	▶ 米財産区特別会計(第1号)	(基金積立17万円)	全会一致	
その他	▶ 工事請負契約の締結について	(庁舎等空調設備改修工事 機械設備)	全会一致	
	▶ まちづくりビジョンの変更について	(施策の追加・修正)	全会一致	
	▶ 副町長の選任につき同意を求めることについて		全会一致	

空き家等の適正
管理及び有効活
用条例の制定

反対討論 長谷川 昭二
目的には賛同するが、罰則を課すことには反対。行政代執行が行われた場合は、徴収出来ない場合も発生する。危険家屋の撤去が促進できる支援と併せて取り組む必要がある。

水道事業給水条
例の一部改正

反対討論 長谷川 昭二
消費税増税に伴う改正だが、平均給与が減少している中での増税は、暮らしにも地域経済にも打撃を与える。一般会計から、増税分の補填を行い、町民への影響を最小限にすべきである。

賛否あり

賛成議員

長谷川

津川 前田 本田 中池 山下
斉尾 阪本 油本 飯田

賛成議員

長谷川

津川 前田 本田 中池 山下
斉尾 阪本 油本 飯田



陳情審査結果

陳情件名	陳情者名	採決	委員会の意見
特定秘密の保護に関する法律の廃止または抜本的改正を求める意見書提出の陳情	鳥取県・中部九条の会 代表 高多彬臣	採 択 全会一致	本法律は国益を守るため必要ではあるが、独立したチェック機関の設置など、国民の疑念払拭のために、国において更なる議論が必要である。 →政府・国会に意見書の提出

北条川放水路に関する特別委員会（第1回中間報告）

委員会として、3月11日に開催された地元（弓原浜自治会）と県・町とのやりとりを踏まえ、今後十分に検証し、地元要望が早期に実現されるよう引き続き取り組んでいく。特に予算措置が伴うものについては、具体的に検証していくことなどの活動方針を決定した。

議案第1号 議員報酬の特例に関する条例の一部改正 全会一致

★地方交付税の減額など町の財政状況を考えれば、議会も財政負担を軽減する必要がある。
①議員報酬月額を3%減額する。(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

議案第2号 鳥取空港の愛称を「鳥取砂丘コナン空港」とすることを求める決議 全会一致

★鳥取空港の愛称が「鳥取砂丘コナン空港」となれば、国内外からの鳥取県や青山剛昌ふるさと館への観光客増加が期待できる。北栄町議会は鳥取空港の愛称を「鳥取砂丘コナン空港」とすることの早期実現を強力に推進するものである。



飯田 正征

ふるさと納税 増やすために

答「クレジット決済の導入」

飯田

横ばいである本町の「ふるさと納税」を増やすために（県内には前年の倍以上になっている自治体が多い）次のことを考えてみては。

- 農産物を中心にお礼の記念品の種類や組み合わせを増やす。
- ふるさと納税の用途を分かりやすく示す。
- インターネットによる払い込み、民間インターネット（ふるさとチョイス）の活用。

町長

納税のお礼の品を4品から33品にし、また納税額によって4つのコースから選択出来るなど大幅に見直し、26年度からスタートする。6月からはネット上のクレジット決済も可能になり、寄付件数の増加を見込んでいます。今後も随時見直ししながら、貴重な自主財源であるふるさと納税の確保に取り組んでいく。



斉尾 寡婦控除は、法律婚を経た配偶者と死別、離婚した人を対象に所得税などを控除するもの。ところが、未婚で母子（父子）家庭になった人には適用されていない。民法上の格差是正は行われたが、保育料の算定などに関わる所得税法や地方税法での措置の見直しはできていない。これは「みなし適用」すべきである。

町長

寡婦控除の意味は、「母子家庭が少しでも豊かな生活が送れるように」ということを考えれば、未婚の母子家庭に適用されないのは不合理だと思う。「みなし適用」を本町でも行っていく方向で検討したい。



斉尾 智弘



寡婦控除 みなし適用すべき 答「適用する方向で検討」

町政 ここを問う

3月定例議会では、13人の議員が28問の一般質問を行いました。

質問者	質問事項	質問の相手
飯田 正征	土曜日授業について	町長・教育委員長
	ふるさと納税について	町長
津川 俊仁	少子化対策について	町長
	由良宿団地の建て替えについて	町長
阪本 和俊	子ども達の携帯電話等の利用状況と指導方針について	教育委員長
	由良川以西の保安林の保護と対策について	町長
斉尾 智弘	町長の政治姿勢と職員に対する指示命令系統について	町長
	遊休農地の管理条例（仮称）制定について	町長
	寡婦控除について	町長
森本真理子	新築住宅の固定資産税減免について	町長
	学校のいじめ予防出前授業について	町長・教育委員長
	女性と若者にやりがいと魅力のある農業を目指して	町長・農業委員長
宮本 幸美	農業者婚活事業について	町長・農業委員長
	コナン通りについて	町長
長谷川昭二	農業担い手の育成について（地域サポートを）	町長
	町づくりと災害時の避難場所について	町長
町田 貴子	生活交通の改善について	町長
	農業振興計画について	町長・農業委員長
田中 精一	住宅リフォーム助成制度について	町長
	保育料無料化について	町長
池田 捷昭	大栄中学校の水泳プールについて	町長・教育委員長
	山陰道・北条道路の早期事業再開について	町長
山下 昭夫	北条放水路建設に伴う地盤沈下について	町長
	北条砂丘地振興について	町長
油本 朋也	町長の政治姿勢について	町長
	山陰自動車道路インターの取付場所と旧運転免許試験場跡地の有効利用について	町長
浜本 武代	続・交通安全対策について	町長・教育委員長
	協働のまちづくりについて	町長

町政ここを問う

町政ここを問う

コナン通り

遊休農地の除草

答「自己責任で」



森本 真理子

森本

コナン通りから遊休農地が見え景観が悪い。より一層コナン通りの魅力を増すため、土地所有者から許可を得て、定期的に除草作業をしてはどうか。

町長

所有者の許可を得て定期的な除草作業ということは、すべての遊休農地の除草作業ということになりかねるので、やはり自己責任を全うしてほしい。



新築住宅の減免

独自制度で免除

答「できるかどうか考えてみたい」



斉尾 智弘

斉尾

新築住宅の場合、地方税法の規定により、床面積120平方メートルまでの固定資産税が2分の1に減額されるが、減額されない残り2分の1を町独自の制度を作り免除してはどうか。

町長

定住対策、また地域経済の活性化が促進できるのであれば、できるかどうか考えてみたい。



阪本

由良川以西の砂丘地保安林は、国が指定した森林で、その管理は鳥取県から北栄町に委託されている。町は、枯死木の伐倒駆除しか対応せず、肝心の防除を怠り、これでは保安林は消滅寸前である。このため農作物は、季節風による飛砂被害が年々増加している。管理者である町長の結果責任は、免れないのではないかと。

町長

町の管理部分には、伐倒駆除と抵抗性クロマツ苗の無料配布を行うが、引き続き「自主管理」をお願いしたい。空中・地上薬剤散布は、地元の長辛生産部会が反対しており、実施できない。



阪本 和俊



国道9号妻波海岸付近

砂丘地の保安林 管理怠慢で消滅寸前 答「生産部会が薬剤散布に反対」

北条砂丘地振興 魅力ある全体構成で 答「活性化に取り組む」

池田

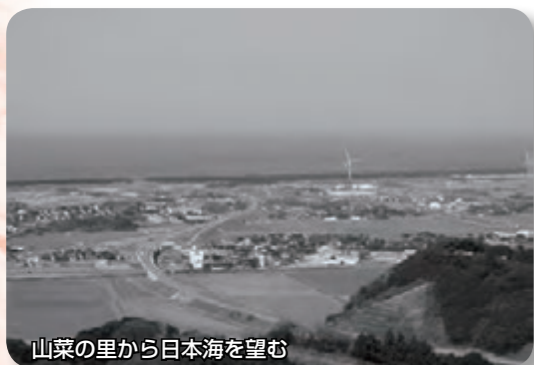
中部は自然豊かで、農業と観光を活かした「魅力ある文化都市構想」を目指すべきと考えるが、どう考えているか。道の駅隣にブランド進出と合わせグリーンツーリズム、白砂青松、農業一次産品6次産業を捉えた魅力ある全体構成で滞留人口を増やし、空き家も活用した移住につなげる全体構想は。

町長

砂丘は農業の1次産業、面へと活性化に取り組むの1次産業、でいきたい。活性化プラン実施中である。垣根くらしいの高さのワイン用ブドウを試験栽培中で、取り組みたい生産者があれば支援したい。



池田 捷昭



山菜の里から日本海を望む

町政マゴを問う

町政マゴを問う



町田 貴子

保育料無料化 保護者の負担軽減

答「県補助は中山間地が対象」

町田

多くの町民は保育料の無料化を望んでいる。県の中山間地域市町村保育料等事業をつかって町の保育料を無料にできないか。少子化対策にも最良な方法であると思つが。

町長

本町の場合は、栄地区のみ事業制度の適用となる。他地域は一般財源の充当となり約8千万円が必要となる。本町の保育料は、平成24年度からの幼保一元化に伴い、保育料の引き下げを行い、中部で三朝町について一番安い。



町政マゴを問う

協働のまちづくり

「伸びのびトーク」を特番で

答「TCCへ提案」

浜本

1月に知事を迎え、「伸びのびトーク」北栄が開催され、介護予防と農業振興の重要課題が話し合われた。町の取り組みが評価され、県下への推進要請もあつた。有意義な内容であり、町民への特別番組を作成してはどうか。また「健康ほくえい計画」や「六尾自治会の健康づくり」のDVDも町民と共有してはどうか。

町長

「こけな身体操」による介護予防や農業の課題解決への特集番組を他町とも相談し、TCCへ提案してみたい。町の情報の共有は大切であり、健康推進員会や食生活改善推進員の研修の機会に周知を図っている。



東園浜自治会にて



浜本 武代

町長の政治姿勢

プラント誘致の目的は

答「賑わいの拠点づくり」

池田

10年先を見据えた自治体をどのように導かれるのか。平成28年度から地方交付税が段階的に5億7千万円削減される中、「町民の暮らしを守るべき財政改革」を伺う。町がプラントを誘致されるその目的、規模、効果は。

町長

現在専門企業に町財政の分析をさせている。北栄町の在り方を根本的に見直す必要がある。企業の発想を持ち、職員の意識改革が必要だと思つ。プラントはまだ協議中である。地権者の多くはプラントが撤退した時のことを心配し、町が間に入ることを望んでいる。商業施設を中心とした賑わいの拠点づくり、公共交通結節点としての利用は高くなると考えられる。売場面積約8千平方メートル、境港の同店舗の2分の1程度。パートや非常勤という形態が多くなるが雇用もふえる。国県の支援制度を活用しながら、地元商店の特色を生かしたまちづくりを検討してみたい。



阪本 和俊

阪本

町長は、昨年12月定例議会で「今後は議会とよく相談をしていく」と発言をしておきながら、全く相談することなく、常に一方的な説明に終始している。また、以前にもまして「環境政策」に取り組む姿勢には、全く反省が見られない。もつと町民生活の実態を検証し、身近な町民サービスを提供すべきと考

町長

平成25年度から取組んでいる「環境事業」は、既定の事業内容、事業量、予算の範囲内で実施しており、「以前にもまして取り組む」という指摘は、当たらない。今後、「まちづくりビジョン」の見直しで、町民ニーズ調査を実施し、また従来から開催の「地域座談会」で町民の生の声を聞き、政策・予算に反映したい。「住んでよかった北栄町」と言われる町政運営をしていきたい。



池田 捷昭



町長の政治姿勢

一方的な説明姿勢

答「環境事業は予算内」

町政マゴを問う



長谷川 昭二

生活交通の改善

タクシー助成の増額

答「公共交通と乗り継ぎで」



長谷川

乗車回数一回あたりの助成限度額が800円では、乗車距離が長くなればなるほど利用負担がおおきくなり、日常的に利用は難しい。住民の移動手段を確保し、路線バスなどの自己負担で利用しやすくすべきではないか。

町長

公共交通不便地域として町内26自治会を対象に利用者の自宅から最寄の交通機関の停留所、公共施設、医療機関など町内の定められた拠点までのタクシー利用について、800円を上限に町が補助するものである。必要に応じて乗り継ぎによる路線バス、JR・乗りあいタクシーの利用をお願いしたい。

町政マゴを問う

北条道路

インターチェンジを

答「関係機関に要望」

田中

山陰道・北条道路の事業化が、にわかには脚光を浴び、早期の実現を期待している。事業化にあたり、①町内2つの道の駅付近にフルインターチェンジの設置 ②国史跡お台場の土壘上から、日本海が望める道路高に ③北条オートキャンプ場付近の高架構造を「土盛り」ではなく「鉄筋コンクリート橋脚」とするよう、国や関係機関、県選出の国会議員に要望されたい。

町長

北条道路の早期事業化に向け、引き続き関係機関等に要望したい。町民各位の熱い思いや町議会の後押しが実現の早道であり、支援をお願いしたい。要望の①②について、関係機関や国会議員に、強力に要望したい。③は、北条オートキャンプ場と北条道の駅が分断される恐れがあり、しかもこの付近は交通安全対策として先行着手が近づいているので、早急に要望したい。



田中 精一



お台場から望む日本海

北条道路

お台場付近にインター

答「インターは必要不可欠」



山下 昭夫



山下

道の駅大栄にインターチェンジの設置を国に要望すること、また旧運転免許試験場跡地の有効利用は。

町長

大栄と北条の道の駅付近にフルインターチェンジは、必要不可欠であると強く要望している。跡地の未利用地は県立美術館誘致を中部全体で推進していきたい。

学校への送迎

危険な登下校

答「あらゆる安全対策を」

答「車での送迎控えて」

油本

大栄小学校と中学校

大栄小学校の間の野球場付近の道路には、朝夕送迎する車が停車し、道幅が狭くなると共に子どもたちの車の乗り降りの仕方をめぐり、近隣住民からその危険性を指摘する声が上がっている。子どもたちが自分自身で、安全に登下校できるよう、指導を徹底し事故を防いでほしい。

町長

地元自治会、教育委員会からの情報で承知している。町の宝である子どもたちを、事故から守るため、車での送迎は控えてほしい。地域の自治会や警察など関係機関と連携しながら、事故防止のためあらゆる交通安全対策を行いたい。

教育委員長

学校から保護者には、PTA総会で乗り入れ制限区間を説明し、生徒には、全校集会等で乗り降りの指導をしている。教育委員会としても保護者の方々に校門付近の危険な状況を説明し、車での送迎を控えることをお願いしたい。児童生徒にはより一層徹底して交通安全指導したい。



大栄小・中学校入口



油本 朋也



津川 俊仁

由良宿団地

建替計画の提示を

答「28年度から建設」

津川

町営由良宿団地は

建て替えの方針が出され、現在、新規入居者の募集停止がなされている。

そこで、現在の計画の進行状況と入居者への説明状況など今後の進行表を提示されたい。



町長

平成27年度に設計、28

年度から32年度にかけて建設する。26年度中には由良宿団地への入居希望の取りまとめを行う。

建設の方法は、団地に隣接する町民プール跡地を利用して、まず1棟を建築。次に、現在の住宅を撤去して、その跡地に2棟目を建築する。現在の入居者には早々に説明会を開催したい。

町政ここを問う

茶臼山 憩いと避難場所

答「整備は考えていない」

宮本

茶臼山(ちやうすやま)は、周辺にこども園、小、中学校があり、町のシンボルである。

害虫による、なら枯れが発生し、伐倒駆除が行われるこの際に、山を憩い場、教育の場、さらに災害時の避難場所へ整備する考えはないか。

町長

茶臼山は北条地区のシンボルだが、遊歩道はなく町民の方に安全に楽しめる状況ではない。

すでに蜘蛛ヶ家山(くもがいやま) 山菜の里やレークサイド大菜など、同種の憩いの場があり整備する必要はないと考えている。

また、避難場所として整備することも考えていない。



宮本 幸美



北から望む茶臼山

住宅リフォーム

範囲と助成の拡大

答「水洗化利子補助の併用も」



長谷川 昭二

長谷川

助成制度の利活用

を進め地域経済の活性化につなげるため、零細事業所も含め、バリアフリー化や畳・窓の取り替えなど、小さなリフォームも幅広く対象にし、助成限度額も引き上げが必要。また、下水道の水洗便所改造資金利子補助制度と併用すれば、水洗化促進の相乗効果もつまる。

町長

4月からの消費税増税

をひかえ、駆け込み需要の真つただ中にある。今後その反動と急激な落ち込みが予想される。

地方経済の活性化のため交付金を利用した住宅リフォームを支援する。水洗化利子補助との併用もできるので、活用してほしい。



北条川放水路

地元支援の体制は

答「担当を専任」

池田

工事損害補償につ

いて、12月議会で、「町として副町長をトップに一級建築士の専門家で支援体制をとられては」と提案したがされなかった。結果、合意案件がない。再度、支援体制と地元対策委員会への支援費は。

町長

担当を専任し、職員と

建築士が一緒になって対応したい。副町長のトップも考えてみる。対策委員会の支援費として10万円計上している。



池田 捷昭



放水路左岸に見える弓原浜地区

町政ここを問う

土曜日授業

早急に実施を

答「教育委員会に検討要請」

答「慎重に検討が必要」



飯田 正征

町長

鳥取県教育委員会、市町村の主体的な土曜日授業実施を支援すること

で、地域の実情に応じた子どもたちの、教育環境の充実を図りたいとしている。

町の実情に合った方法で取り組むことを検討するよう、教育委員会に要請している。



飯田

国は、学力向上や

地域と学校のつながり強化を狙い、平成26年度から3年間で全公立校での土曜日授業を目指すため、実施校に補助制度を設ける。鳥取県も単独支援も行い応援する方針。土曜日授業は必要と考える。本町も先進地を参考に早急に取り組むべき。

教育委員長

実施するかどうかは、慎重に検討を重ねる必要がある。本町の子どもたちの土曜日を含めた豊かな教育環境の在り方について、保護者や学校教職員の見解を聞き、社会教育関係者との協議をしていく。

子どもたちにとって本町に意義のあるものにしていかなければならない。

少子化対策

本気で取り組みを

答「支援体制を整備」



飯田 正征

飯田

平成26年度から国

は、結婚から子育てまで切れ目のない支援を条件に自治体の少子化対策を後押しする。数年前に婚活支援事業を廃止した本町のその後の少子化対策は、中部広域連合の対応を待つのではなく、町が中心となり本気で取り組まなければ少子化はさらに進む。若桜町では保育料完全無料化方針、本町の考えは。

町長

町として幼保一元化を

始め、保護者が安心安全に子どもを産み健康に育てられる環境の支援体制整備を進める。婚活イベントは1市4町で積極的に取り組むよう提案している。事業実施はノウハウを持つ民間事業者への委託を考えている。保育料無料化は考えていない。



町政マニカを問う

婚活事業

きつかけの場の提供

答「民間事業者へ委託」

答「農業青年を後押し」

森本

独身の農業青年も

多く、きつかけの場を提供し、幸せな家庭をもてるよう後押ししてはどうか。

平成23年に事業仕分けで、町の事業としては「不要」と判断されたが、家族は大変心配されている。町の婚活事業について、今後の方針は。

町長

平成23年度に婚活支援

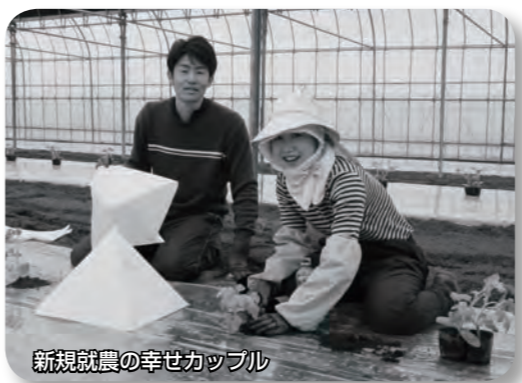
事業としてイベントを実施していたが、特に女性の参加が少なく、成婚に至らなかった。1市4町「定住自立圏構想」のなかで取り組みたい。事業実施にあたっては民間事業者への委託が効果的だと考える。

農業委員長

実績のある琴浦町農業委員会や婚活支援団体「マドンナ」との意見交換会も行っている。イベントに参加しやすいように農業青年を後押ししたい。



森本 真理子



新規就農の幸せカップル

子どもの携帯電話

利用状況と指導方針は

答「親子で使用ルールを」

津川

去る1月31日には、

米子市小中PTA連合会が、「ゲータイを持つたせません」とする緊急アピールを発表した。本町も見習うべきだ

と思うが、本町における子どもたちの携帯電話の利用状況とその使用についての指導方針は、また、その指導方針を、保護者、地域などへどのように啓発していくのか。

教育委員長

調査結果より小学生35・6%、中学生41・2%が所有。親との連絡手段や友達と電話やメール、カメラやゲームをしている。使用ルールについて、家族との約束を守っているかの問に対し、小学生84・7%、中学生75・4%が守っている。教育委員会、学校とも指導方針と

して、不要であり持込みをしないよう、親子で使用するルールを決めてもらう。こども園、保育所、小中学校の保護者を対象に同じ講師で研修会を実施したり、パンフレットを配布予定。



津川 俊仁



町政マニカを問う

遊休農地

条例で保全すべき

答「政策で対応」



斉尾 智弘

斉尾

北栄町では、年々遊休農地が増えてきている。今後担い手への農地集積が促進されるが、耕作に適さない農地は作り手が見つからず、遊休農地となる。そういう農地は管理されず、雑草が繁茂し、隣地に迷惑をかけるケースが出てきている。条例を制定し農地の保全をしていくべきである。

町長

耕作放棄地は現在85ヘクタールになっており、年々ふえているが、農業委員会が必要な指導や意向調査もやっている。新しくできる農地中間管理機構による、利用の促進を図ることができる。また農業者向けの農地・水・プランが創設され、条例を作らなくても現行の対策や政策で対応していきたい。



農業委員で耕作する六尾の遊休農地

いじめ対策

予防の出前授業

答「教育委員会と協議」

答「検討する」



斉尾 智弘

斉尾

昨年9月「いじめ防止対策推進法」が施行された。その中では道徳教育などの充実を施策として上げている。そこで、東京の弁護士会が平成20年から行っている「いじめ予防の出前授業」を紹介し、北栄町でも取り入れることを提案する。内容は、いじめられる側にも問題があるとする考え方は間違いで、まったく悪くないとする授業である。

教育委員長

いじめられる側も悪いと考える人は残念ながらいる。でも私はいじめられる側は絶対に悪くないと思っている。そういう出前授業があるなら検討する。

町長

教育委員会と相談しながら対応を考えていきたい。



湖南市での「いじめサミット」

大栄中プール 早期に「50m」で

田中

大栄中学校の水泳

プールは、築46年が経過し、老朽化が進み、維持管理が限界に達している。このプールは、中部地区で唯一無二の日本水連公認の50mプールであり、もし25mで改築されれば、中部地区から世界に羽ばたく水泳選手育成の灯火が消滅する。早期に「50m」での改築を、決断すべき時期に来ているのではないか。

町長

PTAからの改築要望で、現状は承知している。その都度、教育委員会と協議したが、年間90日の利用実績に対し、改築費用約1億5千万円は、費用対効果の面で躊躇してきた。当面は、補修で対応し、様子を見たい。しかし、耐震性や耐用年数を超え、改修整備を考慮する時期に来ている。適切なプールのあり方、整備の方針を考えたい。

答「当面は補修」

答「改築が適当」

教育委員長

過去3カ年、PTAから改築要望があったが、少ない利用実績や水泳部がないこと、多額の改築費用がネックとなり、町当局へ積極的な改築要求をせず、現状維持としてきた。今回の一般質問を機会に、委員会であらためて協議した結果、今後、改築による整備が適当であるとの結論に達したので、町長と協議を進めたい。



家族経営協定

明るい家庭のヒント

答「今後も推進する」

答「文書化で効果あり」

森本

家族経営協定を締結することにより、経営方針や営農計画、働きやすい就業条件を家族全員で話し合うことができる。

女性の社会参画を後押しし、後継者も経営に参画し、明るい家庭を築くヒントがあるのではないか。

町長

農家の方には、我が家の農業を見直す手段として、家族経営協定に取り組んでいただきたい。希薄になりがちな家族関係の中で、この協定は、家族で話し合う機会を増やしていく一つの方法である。北栄町では、100戸、そのうち女性が含まれる協定を結ばれている農家は87戸。今後とも推進する。

農業委員長

文書化することによって、適正な評価や働きがいにつながり、仕事や社会に自信を持って取り組めるようになったなど良い効果が表れている。今後とも女性の社会参画を促す家族経営協定を推進していきたい。



森本 真理子



らっきょうの根切り作業



宮本 幸美

農業担い手の育成

就農者のサポートは

答「交流の場の確保」

宮本 ①担い手が不足している現在、新規就農者を啓発、確保し育成するために、様々な支援をして地域とのつながり交流へ地域サポートで支えあいながら就農者を育てて行くことが必要である。

②北条砂丘活性化プランで、夢と希望の持てる農業を目指して、昨年からの取り組みを経て、一年経過した。計画と実施、更に成果は。

町長 ①新規就農者の地域とのつながり、交流は、不安の大きい就農者にとって大きな支えとなっている。営農サポート事業で企画する就農者同士の会や地域で積極的に話し合える機会を作り、交流の場を確保していくことが大切。

②プランでは、5年間で耕作放棄地を8・5ヘクタール減少が目標。また、主要品目の栽培面積の増加を目標に掲げ、JAS生産部、県、農業改良普及所などと連携して、北条砂丘地農業の活性化に努めている。



町政ここを問う

農業振興計画

小規模の位置づけ

答「規模に関わらず助成」

答「農業の担い手」

長谷川 高齢者や退職後の就農者など小規模でも、誰でも農業を続けられるように支援をすることで地域全体の農業の維持発展ができる。農業振興基本計画の策定にあたり、農業の担い手として小規模農家をどう位置づけるのか。



長谷川 昭二

町長 農地の維持、管理などのため小規模農家も重要な役割を果たしている。小規模農家の方々が地域の農地は地域で守って行こうとされる活動を促進して行きたい。

農業委員長

農業を10年以上継続してやろうという意思のある人は、規模の大小に関わらず農業の担い手である。小規模農家も地域の農業や農地を守り、活かす工夫が必要である。



追跡 あの質問はどうなった？

六尾県道の歩道整備

【平成24年12月定例会】

【石丸】交通量も多く、危険な六尾地内県道の歩道を、早急に整備すべき

答 用地買収が出来ないため、未整備区間となっているが、県土整備局などと協議を重ねている。



歩道整備



(平成26年3月完成)

空き家対策

【平成24年6月定例会】

【長谷川】火災後の建物が放置され危険。町条例を整備して対処を。

答 危険家屋の現状を把握し、条例制定の必要性を判断したい。

【平成24年12月定例会】

【飯田】空き家が急増し、環境面・防犯上の危険もある。条例を制定し、対処すべき。

答 先進地を参考に、条例制定に向け検討する。

【平成25年9月定例会】

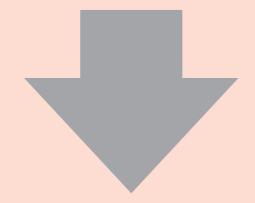
【飯田】「先進地を参考に、条例制定に向け検討する」とのことだったが、進捗状況は。

答 視察も行い、庁内関係課での協議も重ねている。3月議会上に上程したい。

【平成25年12月定例会】

【田中】町内では「危険空き家屋」の放置問題が深刻化している。どうするのか。

答 3月定例会で行政代執行の規定を盛り込んだ条例案を提案する。



平成26年3月20日条例可決 7月1日 施行

「北栄町空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」



(危険な工場跡)



小谷 知佳さん(六尾) ※左から2人目

- ① 3年生の文化祭
- ② ドラム
- ④ 地域がやさしい。
- ⑤ 今まで育ててくれてありがとう。これからもよろしく。

小谷 由佳さん(六尾) ※右から2人目

- ① 修学旅行で東京ディズニーランドに行ったこと。
- ② 絵を描くこと。
- ④ コナン、青山剛昌ふるさと館
- ⑤ 県外に行くけど、これからもよろしく。

まちの宝



～次代を担う子どもたち～

3/11 北条・大栄 中学校卒業式

インタビュー項目

- ① 学校生活の思い出は
- ② 今、頑張っていることは
- ③ 町に望むことは
- ④ 北栄町の好きなところは
- ⑤ 家族に一言

吉村 星良さん(由良宿1区)

- ① 修学旅行・文化祭
- ② ピアノ
- ③ もっと活気を。
- ④ 空気がきれい。
- ⑤ これからもよろしく。



山柘 大笑さん(由良宿2区)

- ① 修学旅行
- ② 英語
- ④ きれいな町
- ⑤ これからもよろしく。

松本 蓮さん(田井) ※中央

- ① 文化祭の合唱でグランプリを受賞したこと。
- ② 勉強



牧田 禎子さん(国坂)

- ① 文化祭
- ② 勉強
- ③ 楽しい町に。
- ④ 風車がいい。
- ⑤ 今までありがとう。(感謝)

遠藤 美柚さん(由良宿4区)

- ① 修学旅行
- ② 英語
- ④ 空気がきれい。
- ⑤ 今までありがとう。これからもよろしく。



朝倉 妙さん(由良宿7区)

- ① 部活動(陸上・駅伝)
- ② 数学
- ③ 遊ぶところを作ってほしい。
- ⑥ どうもありがとう。

石賀 梨那さん(曲) ※左から3人目

- ① 文化祭
- ② 卓球
- ③ 水田で稲を作ってほしい。
- ④ 自然がいっぱいでよい。人間関係が良い。(助け合い、つながり)
- ⑤ 今までに感謝、これからもよろしく。



加藤 玄将さん(江北) ※中央

- ① 学校生活が楽しかった。
- ② 柔道
- ③ もっと明るく。(人口増で)
- ④ 山が見えるのが良い。
- ⑤ 今後もよろしく。

インタビュー項目

- ① 学校生活の思い出は
- ② 今、頑張っていることは
- ③ 町に望むことは
- ④ 北栄町の好きなところは
- ⑤ 家族に一言

山根 尚幸さん (曲)

- ① 広島への修学旅行
- ② バドミントン
- ③ 町の人がやさしいこと。
- ④ 自然がいっぱいあること。
- ⑤ 6年間ありがとう。



中西 由乃さん (弓原) ※右から1人目

- ① 水泳大会
- ② 水泳
- ③ 子どもたちに活気があるように。(父親)
- ④ 子どもが元気であること。(父親)
- ⑤ 12年間ありがとうございました。



道祖尾 太智さん (由良宿4区)

- ① クラスが楽しかった。修学旅行や船上山に行ったこと。
- ② そろばん
- ③ みんなが楽しく住める。
- ④ おいしいものがたくさんある。(スイカ、長芋)
- ⑤ 今までありがとう。これからもよろしく。



井川 愛さん (由良宿7区)

- ① 修学旅行や、みろくの里に行ったこと。
- ② 勉強
- ③ 海と山と自然がいっぱいあるところ。
- ④ 今までありがとう。



中原 麻歩さん (六尾)

- ① 修学旅行で「みろくの里」に行ったこと。
- ② ドッジボール
- ③ 洋服の店がほしい。
- ④ 田舎でのどか
- ⑤ これからもがんばります。



前田 統真さん (妻波)

- ① 運動会の組体操
- ② サッカー
- ③ 買い物するところがほしい。
- ④ のんびりできるところ。
- ⑤ これからもよろしく。



永田 陸さん (東園)

- ① 修学旅行
- ② 勉強
- ③ 家の周りの街路灯を多くしてほしい。
- ④ 緑が豊かなところ。
- ⑤ 高校でも苦労やお金がかかるけど、がんばってください。



河本 希望さん (大谷)

- ① 駅伝
- ② 陸上
- ③ 西瓜がいっぱいあるところ。
- ④ 15年間支えてくれてありがとう。



梅津 菜愛さん (大谷)

- ① 修学旅行 ※左から2人目
- ② 勉強
- ③ 農業が盛んなところ。
- ④ ありがとう。



澤田 里愛さん (下種)

- ① みんなで行った修学旅行
- ② 勉強と部活
- ③ 不登校の人でも学校に来られるような町に。
- ④ 緑や素晴らしい環境。
- ⑤ 15年間いろいろ迷惑かけましたが、これからもよろしくお願いします。ありがとうございました。



濱本 有稀さん (大谷)

- ① 修学旅行
- ② 勉強
- ③ 西瓜がおいしい。
- ④ 高校でもよろしく。





かわいい 双子 ちゃん

池本 ^{みお}心桜ちゃん・^{みゆ}心優ちゃん
(左) (右) (4歳・東高尾)

お絵かきやお料理のお手伝い、ママごとが二人とも好きです。大誠こども園に移りましたが友達ができて喜んでます。早寝早起き、よく食べよく寝て、「自由奔放」に育ててほしいと思います。



森本 ^{ちえ}智恵ちゃん・^{ゆえ}優恵ちゃん
(左) (右) (2歳・大谷)

アンパンマンが大好きです。音楽に合わせて踊るようになりました。最近、パパ、ママと言えるようになりました。のびのびと元気よく、いい所を伸ばしてあげたいと思います。4世代8人家族です。もうすぐ、お姉ちゃんになります。



知っとなる？こんな北栄

「本陣」名残の庭園松 (由良宿2区)



江戸末期に開戦した戊辰(ほしん)戦争で、山陰道鎮撫総督(さんいんどうちんぷそうとく)として山陰地方に転戦した元老・西園寺公望(さいおんしきんもち)公(後の明治時代に内閣総理大臣となる)が、由良の地を訪れた際、佐伯宅(現在の佐伯酒店)を本陣として宿泊した。当時の家屋はすでに建て替えられ、今では玄関横の庭園松が、往時の名残を留めている。

松樹庵 (八十八体石佛) (国坂)



松樹庵(しょうじゅあん)には、本尊薬師如来を初め、観世音菩薩、多聞天、不動明王、弘法大師の像が祀られ、新四国88力所霊場第30番の札所。石像88体は四国88力所霊場を勧請して安置したもの。

編集後記

♪「仰げば尊し」が師の恩…「今は歌われなくなったが、50代の方ならよく存じ卒業式の定番ソング「仰げば尊し」の出だし部分である。当時は意味が分かっていなかった。今は師匠を持つことのでき、すばらしさがよくわかる。一生を通じて師と仰ぐ人と出会った人は幸福だ。それだけで人生の勝利者だ。3月卒業(園)。巣立ちを迎えた子どもたちの、新たな良き出会いが訪れることを祈っている。社会の柱となるべき子らの幸福を願うのみ。
齊尾 智弘

発行責任者

- 議長 井上信一郎
編集 広報広聴常任委員会
委員長 宮本 幸美
副委員長 齊尾 智弘
油本 朋也
森本真理子
田中 精一
浜本 武代

表紙写真

北条小学校入学式

「不安?でも大丈夫」

4月9日撮影